薩摩
琵琶歌
錦の御旗

自序

凡そ薩摩琵琶歌を奏せんとするには、まづその歌曲の性質、精神のある所を究め、然してその歌詞に従ひて、悲哀なる個所は悲哀、壮快なる個所は壮快に曲節に抑揚を附し、聴者をして恰もその境にあるが如く感ぜしめざるべからず。これ琵琶奏曲第一の要義なり。故に吟ぜんとせば、まづ精神の沈静を計り、熱心に毫も浮華なる所なかるべし。

右書は一字一句、楽の符号を以て楽譜を附し、而かも心ある士の為めに編纂せしものにして、如上の精神を以て曲節に対し、所謂節を生かして奏すべし。節と歌とは、人にあるもの、精神を没却したればなり。大方諸流の弊に一切を座右に備へてこの注意を忘れず、業務の餘暇一曲を奏して浩然乃気を養ひ給へ。

謡節注意

音の大小高低等は、それぞれ大小長短の符号を以て示せり。大干とあるは最高音を称するものにして、彼に詣者の大干を干と定むれば其の八の音響を以て歌ふをすとす。中干とは初め地音に出て中間六七の干音に上げ、赤地に落ち、自身の最高音を表わすべき音響に困難を来すのみならず、殆んど一に聲に徐裕なく、聽者をして前苦しきものなり。

中干とは、若くば四五位の音にして、歌の曲調により異なる者とす。山明しとあるは勇壮活発の音を以てすべし。吟唱りは概して悲哀なる場合なれば、その心地を以て波聲等を用ふるを可とす。段落ち謡切りは、符号の示す通りに聲を引き廻し、地に落す。

明治四十一年文月下浣

編者識

錦の御旗

天照大神の影向、眞名井の流れ末清く、瑞穂の国豊葦原の
殷賑、武勇忠義の人多し。
元弘年中の事かとよ。
醍醐帝の三の皇子、大塔宮と申せしは、智勇備はれる君にして、
出家の身にてはまさず、父の御為め国の為め、逆賊を討平げんと
の御企、早くも賊へ洩れしかば、比叡の奥にも南都にも身を

内交 8 4

置き給ふ事難く、熊野を差して落ち給ふ、股肱の臣は
誰々ぞ、赤松律師、光林房、木寺の相模、三河房、「中下」
片岡八郎、武藏坊、平賀の三郎、矢田彦七、村上義光の九人、
にて、柿の衣に笈を負ひ、頭巾眉深く冠りて、先達つくりて山
伏の熊野へ詣でに裝ひたり、龍樓鳳闕に人となり、輕軒香
車を出ます外、雲上人の御歩みの、長途いかにと御供の人

々危く思ひしに、社々の御祈り宿々の法勤め、露も怠り
給はねば、勤修をつとむる山伏も見咎むる者更になし、由良
の湊を見渡せば、沖漕ぐ船の楫をたえ、浦の濱木綿
幾重とも、知らぬ浪路に鳴く千鳥、紀路の遠山眇々と、
薄紫の藤代の松にかゝれる磯の浪、和歌吹上の浦かけ
て、月に磨ける玉津島、「中替」光を他所に伏拜み、長汀

曲浦の旅の路、心も碎く雨ひなり、雨を含める風村の樹タ
を送る遠寺の鐘、哀を催す黄昏に、切目の宮に着き
給ひ、叢祠に神を拝奏して、朝家の栄を祈り申す、
斯くて十津河の、戸野兵衛、竹原八郎たより
孫陰くまで、爰にも長く有かねて、吉野の方へぞ落給ふ、
茲に妹加賀局とて、職に一味の士、宮をさそひて申すよう、

此道通り申なば、鎌倉より追ぶせられん、さはいへ、宮に弓引く
事はいかにも畏れ多ければ、錦の御旗賜るか、左なくば、一
人の供を歩て確據にせんと云ひけれど、股肱の臣を一人だに、いかでか
こゝ
跡に殺べき、詮方なくも御旗をぞ、彼に喫へて虎の口、殷
遠に落れたりしかば、駆て宮に追ひつき申さん空吳疾過ぐる折も

あれハタト庄司に行逢へり、家人ぞ持てる旗見れば、ゑ〜〜錦の御
旗なり、不思議に思ひ弱あるに、事ありと答へけるを、村上之を聞きもあ
へず大手くわつと怒りて睨み、こわそも如何に何事ぞ、奈くも果くも、
四海の主に御座、天子の御名前朝敵を追罰あらんとなり、
御門出の道なるに汝等如き下郎雷力振舞すべきかと、持る御旗
を奪ひ取り、大の男を揺攫んで四五丈計り投げたるに、あだかも獅子の
荒るに異ならず、此怪力に恐れけん、「大手」妹が殿庄司一言もなく
くてすくみけり。義光は御旗を肩に負け、程なく宮に進付、
御前にひれ伏して事の次第を具に申上げ〜かば、宮は斜に
感喜び、古へ、北宮勝が勇氣にて、立ち増れりとめでまゝぬ、
義光は勇のみならず、吉野の戦に、宮に変りて矢弦を
御旗にあたる角と見て、光弟ふ忠臣、殿落義士とたゝえて

後の世は（ノチ ヨ）君に仕（ツカ）ふる人臣の、鏡（カゞミ）とこそは仰（アウ）がるれ　鏡と
［段］返こそは仰（アウ）がるれ

257.
530

明治四十一年七月廿三日印刷
明治四十一年八月一日發行

出版目録

國の御柱 附送別　城山 附逢来山
錦の御旗　廣瀬中佐
威海衛　小督
臺灣入　川中嶋
吹雪の敵　吉野落二段
陸丸　石童丸

不許復製

正價壹部金七錢

曲譜　西田金起
東京市京橋區南傳馬町三丁目十番地
發行者　西村寅次郎
東京市日本橋區馬喰町四丁目廿壹番地
發行者　鈴木武二郎
東京市神田區駿河臺袋町十一番地
印刷者　須佐權平
東京市神田區駿河臺袋町十一番地
印刷所　東陽堂
東京市京橋區南傳馬町三丁目十番地
發行所　東雲堂
東京市日本橋區馬喰町四丁目廿壹番地
發行所　文友堂